

2009年日本応用藻類学会春季シンポジウム講演プログラム

2009年6月27日(土) 東京海洋大学 楽水会館

口頭発表

- 10:00-10:15 A01 Nutrient uptake and reduction efficiency of *Gracilaria bursa-pastoris* (S Gmelin) Silva as a biofilter of red sea bream (*Pagrus major*) culture wastes.
○R. J. Carton*, Y. Okuyama**, H. Kimura**, M. Notoya* (*Tokyo University of Marine Science and Technology, ** Wakayama Prefectural Research Center of Agriculture, Forestry and Fisheries)
- 10:15-10:30 A02 高温耐性を持つ珪藻類 *Chaetoceros* sp.(MO株)の作出
岡内 正典(水研セ養殖研究所)
- 10:30-10:45 A03 アルギン酸分解酵素生産菌の選別と評価の研究
本郷 敦(横浜国立大学大学院環境情報)
- 10:45-11:00 A04 長期培養した褐藻コンブ目植物の配偶体における成熟能力について
○村岡 大祐・坂見 知子・奥村 裕(水研セ東北水研)
- 11:00-11:15 A05 マクサの生育に及ぼす温度, 光量, 塩分の影響
馬場 将輔((財)海洋生物環境研究所)
- 11:15-11:30 A06 高知県大月町におけるヒロメ *Undaria undarioides* を用いた藻場造成実験
○田中幸記*・中地シュウ*・目崎拓真*・岩瀬文人*・中野松生**・中野正夫** (* (財)黒潮生物研究所, ** 橘浦漁業協同組合)
- 11:30-11:45 A07 ヒジキ場造成の阻害要因について
○山内 信・木村 創(和歌山水試)
- 11:45-12:00 A08 漁業者が主体となる磯焼け対策を目指して
田井野清也(高知水試)

講演とパネルディスカッション

- 13:00-13:05 趣旨説明
- 13:05-13:30 S01 地球温暖化が海洋低次生態系に与える影響
～気候モデルと生態系モデルによる予測から～
橋岡 豪人((独)海洋研究開発機構)
- 13:30-13:55 S02 青森県沿岸のコンブ類の生育変化と温暖化
桐原 慎二(青森県産業技術センター)
- 13:55-14:20 S03 海水温上昇によるコンブ目物の交配による磯焼けの克服
○田中 俊充((財)わかやま産業振興財団)・木村 創・奥山 芳生(和歌山県水産試験場)・林 裕一(岡部(株))・四ツ倉 典滋(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)
- 14:20-14:45 S04 宮崎県沿岸のホンダワラ類と冬季水温
荒武 久道(宮崎水試)
- 14:45-14:55 休憩
- 14:55-15:20 S05 温帯亜熱帯境界域における藻場構成種の変動現象, 特にホンダワラ類とアントクメについて
○寺田 竜太・斉藤 尚子(鹿児島大学)

- 15:20－15:45 S06 ホンダワラ類の生長－温度特性と海洋環境変動－
吉田 吾郎(瀬戸内海区水産研究所)
- 15:45－16:05 S07 温暖化によるアマノリ類の生育変化の予測
能登谷 正浩(東京海洋大学)
- 16:05－16:30 S08 地球温暖化とノリ養殖の変化
林 俊裕(千葉県水産総合研究センター)
- 16:30－17:00 パネルディスカッション

ポスター発表

- 12:15－13:00 P01 アルギン酸ゲル物性に及ぼす原料アルギン酸分子の影響
○垣田 浩孝・上嶋 洋(産総研四国センター)
- P02 海洋バイオマスの評価と発酵水素生産の研究
本郷 敦(横浜国立大学大学院環境情報)
- P03 高温耐性を持つ餌料用微細藻類の屋外培養器の開発
岡内 正典(水研セ養殖研究所)
- P04 結束バンドを用いた褐藻アカモクの種苗生産
○山田 嘉暢*・藤川 義一*・林 裕一**・山中 健司**・桐原 慎二***(*青森水産総研, **岡部(株), ***青森産技セ)
- P05 外海及び静穏域に設置した養殖施設におけるアカモクの生長
○藤川 義一*・山田 嘉暢*・桐原 慎二**(*青森水産総研, **青森産技セ)
- P06
- P07
- P08

総会

17:10－17:30